

社協 かわじま

社会福祉協議会費 赤い羽根共同募金 歳末たすけあい運動募金



にご協力をお願いいたします



社会福祉協議会（以下社協）は地域福祉活動の推進、在宅福祉サービスの提供を中心に幅広い福祉サービスを提供する民間の団体です。町民の皆さまには各地区の区長さんを通じて会費・募金の取りまとめをお願いしています。皆さまからいただいた会費や募金は福祉事業を通じて地域に還元させていただいています。

4ページに令和6年度決算・事業報告、5ページに令和7年度予算を掲載しており、皆さまからいただいた会費の活用を記載しております。

社協会費	対象者	金額
一般会費	各世帯・個人	500円
賛助会費	各世帯・個人	1,000円
特別会費	事業所・個人	5,000円

募金対象	金額
赤い羽根共同募金	500円
歳末たすけあい募金	200円

主な
内容

- ・ 支え合う地域を目指して
- ・ 決算報告、事業報告、予算
- ・ 歳末応援金申請案内
- ・ ボラセンからのお知らせ
- ・ 福祉団体コーナー
- ・ 掲示板フレンドリー

2025.10

No. 109



支え合う地域を目指して

— ともに支え合い 自分らしく生きられる
福祉のまち かわじま —

住み慣れた地域で、いつもでも安心して生き生きとした暮らしを続けていくためには、法律や制度に基づく専門職のサービスだけでなく、地域で助け合い、支え合う活動がとても重要になります。社協では、町民の皆さまとともに支え合いの仕組みづくりを進めており、ボランティアさんのご協力により支え合い活動が広がっています。

今後も支え合い活動を継続し充実するため、皆さまの協力が必要です。社協が運営するボランティアセンターでは、ボランティアの相談や活動支援を行っています。

「ボランティアをやってみたいな」「興味はあるけど不安だな」などの相談もお受けしています。勇気を出してボランティア活動への一歩を踏み出してみませんか。

町内で実施されている支え合い活動の一部をご紹介します。お気軽にお問い合わせください。



地域ささえあい協議体（生活支援体制整備事業）

町内7か所で、集いの場や見守り活動など、地域のニーズに合わせた支え合い活動を行っています。

八幡地区で活動されている「ともいき 八幡」の後藤 務代表にお話を伺いましたのでご紹介します。

 実践者にインタビュー！

「みんなの食堂」をやろうとしたきっかけは？

当時の地域の民生委員を中心とした意見では、高齢者にはパティオで対応し、その他の地域住民に対しては食を通じた地域の集いの場や居場所を作りたいという思いがあり、それを実現したいと考えました。

手応えと今後への思いをお聞かせください！

当初は13～14人のボランティアさんで、ご利用者10～20人ほどを想定してスタートしましたが、現在では38人のボランティアさんが関わり、ご利用者も120人までに制限する状況となり、手応えを感じています。今後は後継者を育て、活動を繋いでいきたいと考えています。また、ご利用者の親御さんが当日ボランティアとして参加してくださると助かります。ホールで子供たちを見守るだけでも大変ありがたいです。

「食を通じた地域の集い」という思いを実現したかった。



現在、各地区協議体で活動していただけるボランティアの方を募集しています！

かわじま安心お助け隊事業

～お助け隊は住民主体のお互い様のサービスです～
サポーター会員（ボランティア）が援助の必要な「高齢者」や「障がいのある方」が抱えている「ちょっとした困り事」を解決します。



ハッピー体操

ハッピー体操は、地域の仲間づくりや介護予防を目的とした体操です。「ストレッチ」「有酸素運動」「筋力トレーニング」の3つの運動から構成されていて、音楽に合わせて行える体操です。ハッピー体操サポーター（ボランティア）の皆さんが中心となり実施しています。



いきいきサロン

高齢者が地域の中で明るくいいきと暮らしていけるよう、民生委員・児童委員や地域住民によって、ふれあいの場を設定し、仲間づくり、介護予防を進めることを目的にいきいきサロンを実施します。



オレンジカフェ

専門職による、認知症や介護に関する相談、情報交換、交流の場です。認知症について知りたい方、誰でもお気軽にご参加ください。伊草とやすらぎの郷のオレンジカフェは、ボランティアの方が運営に関わっています。

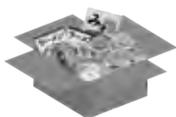


チームオレンジ

チームオレンジは、「認知症の人・家族の希望や悩み、身近な困りごとなど」と「認知症サポーターを中心とした支援者」をつなぐ仕組みのことです。認知症の方が地域で安心して生活できるよう、月に1回、チームメンバー（ボランティア）と健康福祉課、地域包括支援センターで、認知症の方への必要な支援を話し合っています。

川島町ボランティアセンター
(連絡先：049-297-7111)

ご家庭で不要な食料品や日用品がありましたら是非ご寄贈ください！



フード&ライフドライブ にご協力をお願いいたします！



フード&ライフドライブってなに？

家庭で余っている食料品・日用品を持ち寄り、生活に困窮している個人や団体等に寄付する活動です。

- 受付期間 令和7年11月28日（金）まで
午前8時30分～午後5時15分（※土・日、祝日は除く）
- 場所 川島町社会福祉協議会（川島町大字平沼1175 川島町保健センター内）

<お問い合わせ先>

川島町社会福祉協議会 049-297-7111

令和6年度 決算額

収 入	金 額
会費収入	3,284,825円
分担金収入	4,000円
寄附金収入	271,303円
補助金収入	19,853,566円
受託金収入	98,993,070円
貸付事業収入	228,000円
事業収入	4,055,861円
介護保険事業収入	131,849,252円
障がい福祉サービス事業収入	2,548,786円
受取利息配当金収入	846円
その他の収入	923,418円
計	262,012,927円

支 出	金 額
法人運営事業	22,750,836円
会費事業	4,769,188円
補助事業	1,693,185円
受託事業	32,424,810円
福祉サービス利用援助事業	29,990円
福祉資金貸付事業	482,000円
赤い羽根募金事業	2,008,600円
歳末たすけあい運動募金事業	991,632円
訪問介護事業	45,849,933円
老人福祉センター指定管理事業	26,369,632円
通所介護事業	58,849,049円
居宅介護支援事業	27,674,095円
地域包括支援センター事業	38,001,770円
計	261,894,720円

令和6年度 事業報告

① 会費事業

会員会費を財源とした生活支援介護予防サービス等を行いました。

- ① かわじま安心お助け隊事業
- ② ボランティアアセンター事業
- ③ 福祉協力校助成事業
- ④ 100歳の祝い
- ⑤ 米寿の祝い

⑥ 戦没者遺族支援事業

⑦ 地区敬老事業への支援

⑧ 福祉関係団体の支援

⑨ 車いす、シルバーカー、車いす対応自動車の貸し出し

⑩ フード&ライフドライヴ

⑪ フード&ライフパントリー

⑫ 地域包括ケア実習

⑬ 介護に関する入門的研修

⑭ 介護職員初任者研修

② 補助事業

補助金を財源とした高齢者福祉事業及び戦没者遺族支援事業を行いました。

① 100歳の祝い及び米寿の祝い事業（再掲）

② 戦没者遺族支援事業（再掲）

③ 地区敬老会事業助成事業（再掲）

③ 受託事業

受託金を財源とした高齢者福祉福祉総合相談事業を行いました。

- ① いきいきサロン事業
- ② ハッピー体操
- ③ 第32期シニア学園
- ④ 生活支援体制整備事業
- ⑤ 福祉総合相談事業

⑥ 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）

判断能力が不十分なかたに対し、安心して生活が送れるように、生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用や暮らしに必要なお金の出し入れなどを行いました。

⑤ 福祉資金貸付事業

低所得者、高齢者、障がい者や離職者等の生活を経済的に支えらるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

⑥ 赤い羽根募金事業

赤い羽根募金を財源とし、地域福祉の推進を目的とした事業を実施しました。

① 単身高齢者給食サービス（毎月第3木曜日）

② 広報誌の発行（7、10、2月）

③ 民生委員と学校の話し合い

④ おやこのつどい

⑤ 社会福祉大会の開催

令和7年度 予算額

収入	金額
会費収入	3,267,000円
分担金収入	5,000円
寄附金収入	500,000円
補助金収入	17,861,000円
受託金収入	107,025,000円
貸付事業収入	500,000円
事業収入	5,062,000円
介護保険事業収入	153,362,000円
障がい福祉サービス事業収入	2,436,000円
受取利息配当金収入	42,000円
その他の収入	203,000円
前期繰越金	5,436,000円
計	295,699,000円

支出	金額
法人運営事業	36,359,000円
会費事業	5,275,000円
補助事業	616,000円
受託事業	29,638,000円
福祉サービス利用援助事業	68,000円
福祉資金貸付事業	516,000円
赤い羽根募金事業	2,044,000円
歳末たすけあい運動募金事業	1,170,000円
訪問介護事業	52,087,000円
老人福祉センター指定管理事業	24,918,000円
通所介護事業	67,618,000円
居宅介護支援事業	30,726,000円
地域包括支援センター事業	44,424,000円
法人後見事業	240,000円
計	295,699,000円

⑦ 歳末たすけあい運動募金事業

歳末たすけあい募金を財源とし、歳末の時期、支援を必要とする世帯が、明るくお正月を迎えるために贈呈事業を実施しました。

⑧ 介護事業

- ① 訪問介護事業（ホームヘルパー）
- ② 高齢者外出支援事業（福祉有償送）
- ③ 産前産後ヘルパー事業
- ④ 通所介護事業（デイサービス）
- ⑤ 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

⑨ 老人福祉センター事業

高齢者の介護予防の推進、教養の向上及びレクリエーションの実施など、高齢者福祉増進の拠点として、高齢者が健康で明るい生活が過ごせるよう施設の維持管理と運営を行いました。

⑩ 地域包括支援センター事業

介護・医療・保健・福祉などの側面から高齢者を支える相談機関として、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の職員が、高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のため必要な援助を行うことを業務とし、高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を支える役割を果たす機関として、様々な相談を受けました。

⑪ 介護予防ケアマネジメント事業

- ② 総合相談・支援事業
- ③ 権利擁護事業
- ④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
- ⑤ 介護予防サービス支援計画（ケアプラン）作成
- ⑥ 若返りサロン
- ⑦ 認知症を支える家族支援事業
- ⑧ 認知症サポーター養成講座
- ⑨ オレンジカフェ
- ⑩ 認知症初期集中支援チーム
- ⑪ こつこつクラブ
- ⑫ チームオレンジ
- ⑬ 脳いきいき教室

⑪ 法人後見事業

権利擁護の推進



クリスマスふれあいフェスティバル
(西中学校吹奏楽部演奏)

ボランティアセンターからのお知らせ

夏のボランティア体験プログラムを実施しました

夏のボランティア体験プログラムは、町民の皆さんの「やってみたい」を地域の福祉施設や団体の皆さんへと「つなげる」事業です。ボランティア体験を通して「福祉のこころ」を学び、「地域のつながり」をつくることを主な目的として実施しています。



学生・一般の方併せて101名（のべ167名）の皆さまにお申込みいただきました。

今年度は新たに「もみりハの家川島」様、「フードバンクよしみ・かわじま」様にご賛同いただき、17施設（団体）の皆さまにボランティアの受入れにご協力いただきました。



夏ボラ感想集

ハッピー体操サポーター養成講座（16期生）を開催します

ハッピー体操は町民の介護予防を目的とした体操で、町内各地区の公共施設等で実施しています。「ハッピー体操サポーター」は、ハッピー体操を地域の方々に普及し、元気を届けるボランティアです。

対象者	①町内在住で健康な方（※年齢は問いません） ②養成講座終了後、ボランティア活動（月1～3回）の出来る方
募集人数	15名程度
参加費	無料
日程	10月21日（火）～1月20日（火） 毎週火曜日（全12回）※年末年始はお休み
会場	保健センター / 町民体育館
時間	午後2時～4時
講師	都留文科大学 加藤 優 教授
申し込み	社会福祉協議会へ電話連絡【連絡先：297-7111】 または、社会福祉協議会ホームページからお申し込みください。
締切	10月14日（火）※ 詳しい日程等については社会福祉協議会ホームページをご確認ください。



▽養成講座について



～いつまでも自分らしく元気に～
健康意識の高い皆さまのお申し込みをお待ちしています！

介護職員初任者研修受講者大募集！

介護の仕事に興味のある方、これから介護現場で働きたい方など、皆さまのご応募お待ちしております。【旧ヘルパー2級と同等の資格です】

研修期間	令和7年10月16日（木）～令和8年2月12日（木） 毎週木曜日午前9時～午後4時10分
受講料	20,000円（税込・テキスト代含む）
研修会場	社会福祉協議会（保健センター内）

申込方法等、詳しくは社会福祉協議会ホームページをご覧ください。

▷ 初任者研修申込
QRコードはこちら





川島町手をつなぐ育成会

手をつなぐだより No.48

日頃より、育成会活動にご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。

障がいのある子ども達にとって先が見通せない時、怖いと感じた?と思う時があります。言葉の理解や観察力などは個々に違いますが、それぞれ何らかの方法で安心できれば、色々な楽しみを見つけられると思います。外出等で親以外の介助や支援が必要な場合もあり、それを担うヘルパーが全国的に不足しているのです、お仕事として子ども達と関わっていただける方も増えてほしいです。我が子達が楽しくこの川島で住み続けられますよう、今後ともよろしく願いいたします。(会長 望月)

令和7年度 前半の活動報告

パドル体操30周年記念大会

(6月11日)

毎年、生涯学習町民ふれあいフェスティバルの舞台で発表しているパドル体操の「NP0 法人パドルジャクス体操協会30周年記念大会」が彩の国くまがやドーム体育館にて行われ、福祉団体として参加してきました。生バンドの演奏にあわせ、緊張しつつも、たくさん体を動かし、元気に笑顔で3曲踊りました。埼玉県その他、群馬、栃木、福島、宮城、長野、千葉、東京とたくさんの生徒さんが踊られました。また、指導士全員での演技もあり、感動しました。



ご指導いただいている先生には、もう25年の長きに渡りお世話になっており、この記念大会で一緒に踊れた事は、とても幸せに感じます。一日中、外は大雨でしたが、楽しい1日となりました。

民生委員さんとの情報交換

(6月24日)

民生委員さんより、向き合っている話し合いや一人一人の発言が大切、今年は任期満了となり半数以上の入れ替えがある、ダンスやレクでの子ども達への関わり方に戸惑うなどのご意見をいただきました。

会員からは災害時に民生委員さんから声かけをしてもらい心強かったこと、子ども達へは無理をしないで関わってみてほしいなどを伝えました。このような場が大切なことを実感し、少しずつ積み上げ前に進めるようにしたいです。

健康福祉課との情報交換会

(7月25日)

健康福祉課からは石川課長他2名の方、社会福祉協議会からは田中事務局長が出席し、育成会からは17名が参加しました。

情報交換会では育成会側から多くの質問が出され、健康福祉課の担当者の方から適切な回答を頂きました。以前からある制度ですが、あまり知られていないため申請する方が少ない「特別障がい者手当」についての説明がありましたが、対象者となるには厳しい条件があるようです。今後とも、障がい者福祉に対する情報の支援を積極的にお願ひしたいと思います。

《子ども紹介コーナー》



我が子は、川越特別支援学校高等部2年生で、知的障がい、自閉スペクトラム症の男子です。小さい時は人との関わりが難しく、言葉が喋れないので意思疎通も難しく、療育を受け、色々悩みながら子育てをしてきました。今では学校へ行くのが楽しいようで、自分で着替えを持って来て、行きたいアピールをしています。放課後もここにこ(放課後等デイサービス)に行ってお楽しみさせています。ゆっくりでも子どもの成長を毎日感じています。今後も健康で楽しい日々が送れるようにサポートしていきたいと思ひます。(結牙の母)

《会員募集》

障がいのある子どもの事で困ったことや不安なことも、一人で悩まずお話してみませんか?そして子ども達のために、一緒に活動してみませんか? まずはお話だけでもOKです。

問い合わせ

川島町手をつなぐ育成会 会長 望月幸枝 049-297-8978
川島町社会福祉協議会 担当 小峰 049-297-7111

川島町赤十字奉仕団 (活動報告)

赤十字奉仕団は、市区町村ごとに組織されたボランティアグループで、赤十字のボランティア活動を通じて地域社会に貢献しています。川島町では、毎月第3木曜日に単身高齢者を対象としたお弁当の宅配事業やデイサービス（やすらぎの郷）でのボランティア活動、災害に備えた炊き出し訓練等を実施しています。



夏ボラにてボランティアを受け入れました

単身高齢者へのお弁当宅配のお手伝いと、お手紙を書いていただくボランティアを5名、お弁当宅配時に対象者の皆さんへ差し上げる「ペーパーバッグと小物づくり」のボランティアを16名受け入れました。

作成いただいたペーパーバッグとお手紙を、お弁当と一緒にお届けしました。



▶ 団員募集中!

川島町赤十字奉仕団では、全ての人々の幸せを願い、陰の力となってボランティア活動に参加してくれる仲間を募集しています。

お問い合わせ先 事務局 049-297-7111

さわやかクラブ川島連合会

「さわやかクラブ川島連合会」は川島町内の各地区単位で活動をしている老人クラブの連合会です。会員の生きがい創出を目的とした活動を行っています。

「ヒバリ会」の皆さんが連合会に加盟しました!

「川島町にお住いの高齢者の閉じこもり予防のために立ち上げました。解散の危機にある連合会の力になればと考えています」と西村会長よりコメントをいただきました。



掲 示 板 フレンドリー

寄附のお礼

- ・川島ドライブイン食堂 様 精米 100kg
- ・比企地域労働者福祉協議会 様 10,000 円
- ・株式会社オータ 様 お菓子類
- ・株式会社ベイシア 様 雑貨類
- ・笛木 祐知 様 玄米 180kg
- ・岡部 登一 様 玄米 60kg
- ・染谷 由美子様 玄米 10kg

100歳の祝い

100歳を迎えられた方に、藤間会長がお祝いと寿状の贈呈をしました。



くろす はなこ
黒圖 はふ子様
(大正14年6月22日生まれ)

かんだ
神田 さく様
(大正14年9月13日生まれ)



お問い合わせ ▶ 社会福祉法人 川島町社会福祉協議会 (川島町老人福祉センター内)

〒350-0146 埼玉県比企郡川島町大字曲師402番地1
TEL. 049-299-6630 FAX. 049-299-6730 E-MAIL: shomu@kawajima-shakyo.or.jp
午前8時30分から午後5時15分(祝日を除く、月～金曜日)



新春つながり応援事業 歳末応援金のお知らせ



歳末の時期、町民の皆さまに歳末たすけあい募金のご協力をいただいています。
この皆さまからいただいた募金の一部を、生活に支援を要する世帯へ贈呈します。

【次の要件に当てはまる世帯が対象です】

要件① 令和7年10月1日現在で、町内に住民票を有し、
6か月以上居住していること

※病院に入院、福祉施設に入所している方を除く。

要件② 世帯状況に応じた「基準額」を算出し、
その基準額よりも1ヶ月の世帯収入が少ないこと

※収入には給与の他、年金、各種手当、仕送り等、
家計に入る現金をすべて含みます。

※ 生活保護世帯は対象外となります。

※ 応援金は「歳末たすけあい募金」の範囲内により配分いたします。
(世帯ごと10,000円程度の贈呈を想定しています)

今年度より「歳末たすけあい運動配分事業」の名称を「新春つながり応援事業」に改名しました。

「一方的に助ける」のではなく「共に支え合う」、社協では共助のまちづくりを推進します。



当事業は、皆さまからの募金を活用して「誰もが明るいお正月を迎えるために、何が出来るかを考え支援する」活動です。

【基準額の算出方法】ご自身の世帯状況に応じた人数を当てはめて計算してください。

① ご自身の世帯人数を○で囲み、記載された金額を右側の太枠内にご記入ください(※単身世帯の場合103,940円と記入)。

単身世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯		
103,940円	151,770円	177,320円	191,965円	211,784円	241,229円	=	① <u> </u> 円

※ ②～④は世帯内に該当する方がいる場合のみ記入してください。

※ 世帯状況に応じて、最低生活費が加算されます。

② 18歳未満の子どもの人数を太枠内に記入し計算してください(※基準日：令和8年4月1日)。

18歳未満の子どもの人数	() 人	×	10,190円	=	② <u> </u> 円
--------------	------------	---	---------	---	---------------------------------

③ 障害者手帳を所持している方の人数を太枠内に記入し計算してください(※お手元の手帳の種類・等級によって計算が異なります)。

<input type="checkbox"/> 身体1級・2級、精神1級、療育⑥・A所持者	() 人	×	23,060円	=	<u> </u> 円
					+
<input type="checkbox"/> 身体3級、精神2級、療育B所持者	() 人	×	15,380円	=	<u> </u> 円
					③ <u> </u> 円

④ ひとり親世帯の方は子どもの人数を○で囲み、記載された金額を右側の太枠内に記入してください(※3人であれば22,700円と記入)。

子ども1人	子ども2人	子ども3人以上		
16,100円	20,200円	1人増えるごとに+2,500円	=	④ <u> </u> 円

⑤ ここまで計算した①～④の金額を合計して1.2倍した金額が基準額となります。

① + ② + ③ + ④	=	⑤ <u> </u> 円
⑤ × 1.2	=	<u> </u> (基準額) 円

※ 1ヶ月の世帯収入が上記「基準額」を下回る場合、当事業の対象世帯となります。

計算方法がわからない方は、社協窓口までこの用紙をご持参の上ご相談ください。

